

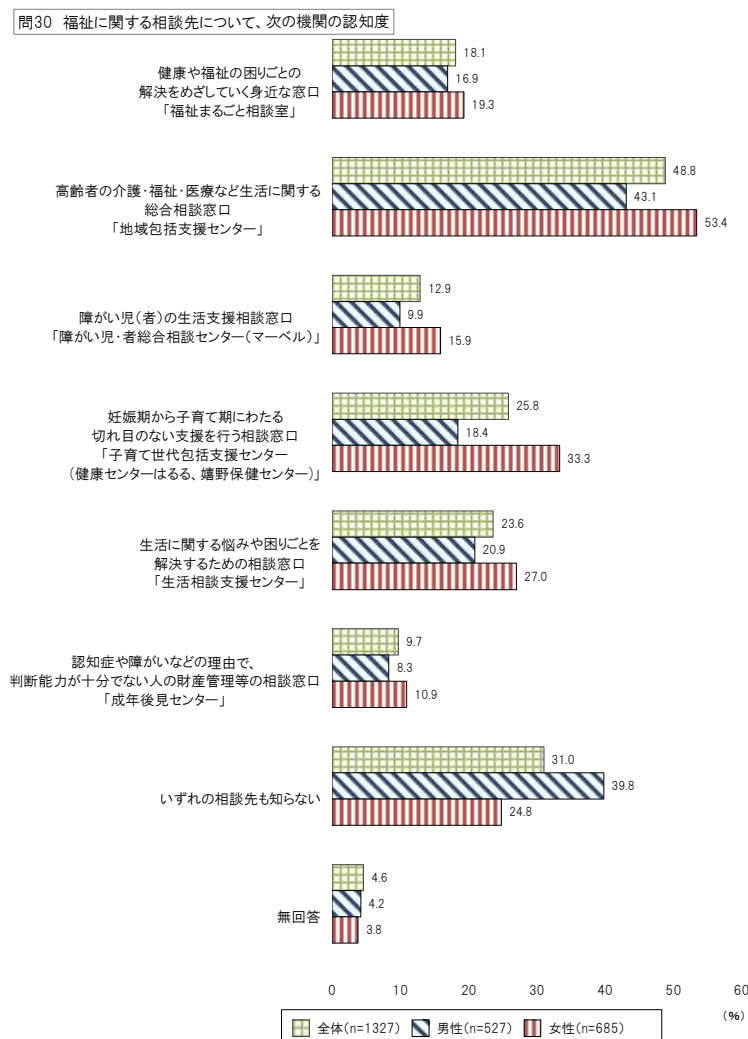
## 7. 地域で支えあう取組について

問 30 市の機関もしくは関係する機関で、福祉に関する相談する先がありますか、次の機関について、ご存じですか。（〇はいくつでも）

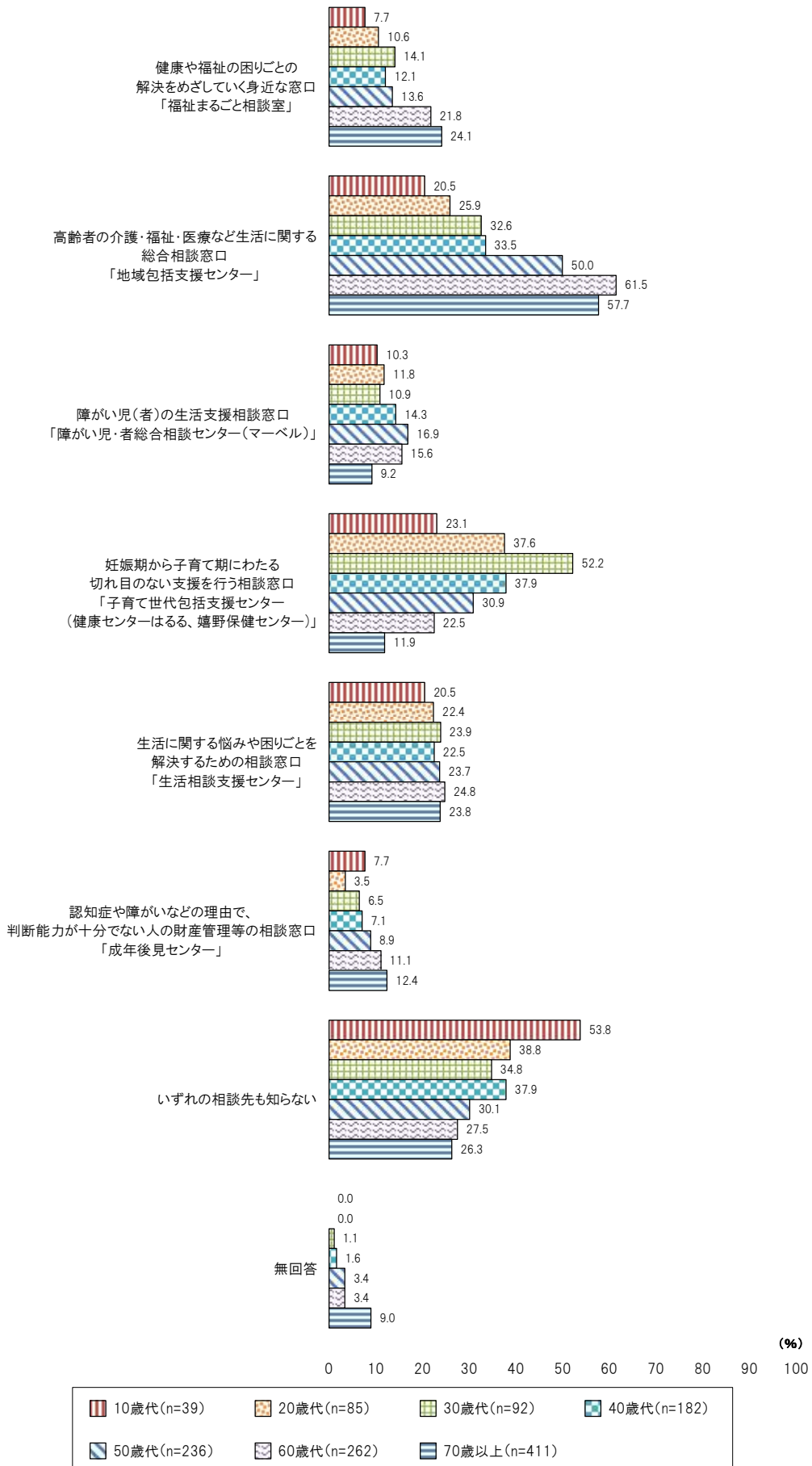
「地域包括支援センター」が48.8%と最も高く、次いで「いずれの相談先も知らない」が31.0%、「子育て世代包括支援センター（健康センターはるる、嬉野保健センター）」が25.8%となっている。

性別にみると、男女とも「地域包括支援センター」が最も高く、次いで男性が「いずれの相談先も知らない」、女性が「子育て世代包括支援センター（健康センターはるる、嬉野保健センター）」となっている。男女の間で差が大きかった項目は、「いずれの相談先も知らない」が15.0ポイント男性の方が高く、一方で「子育て世代包括支援センター」は女性の方が14.9ポイント高くなっている。

年代別にみると、50歳以上の年代で「地域包括支援センター」が最も高く5割を超えている。一方、他の世代に比べ10歳代で「いずれの相談先も知らない」の割合が高く5割を超えている。



問30 福祉に関する相談先について、次の機関の認知度



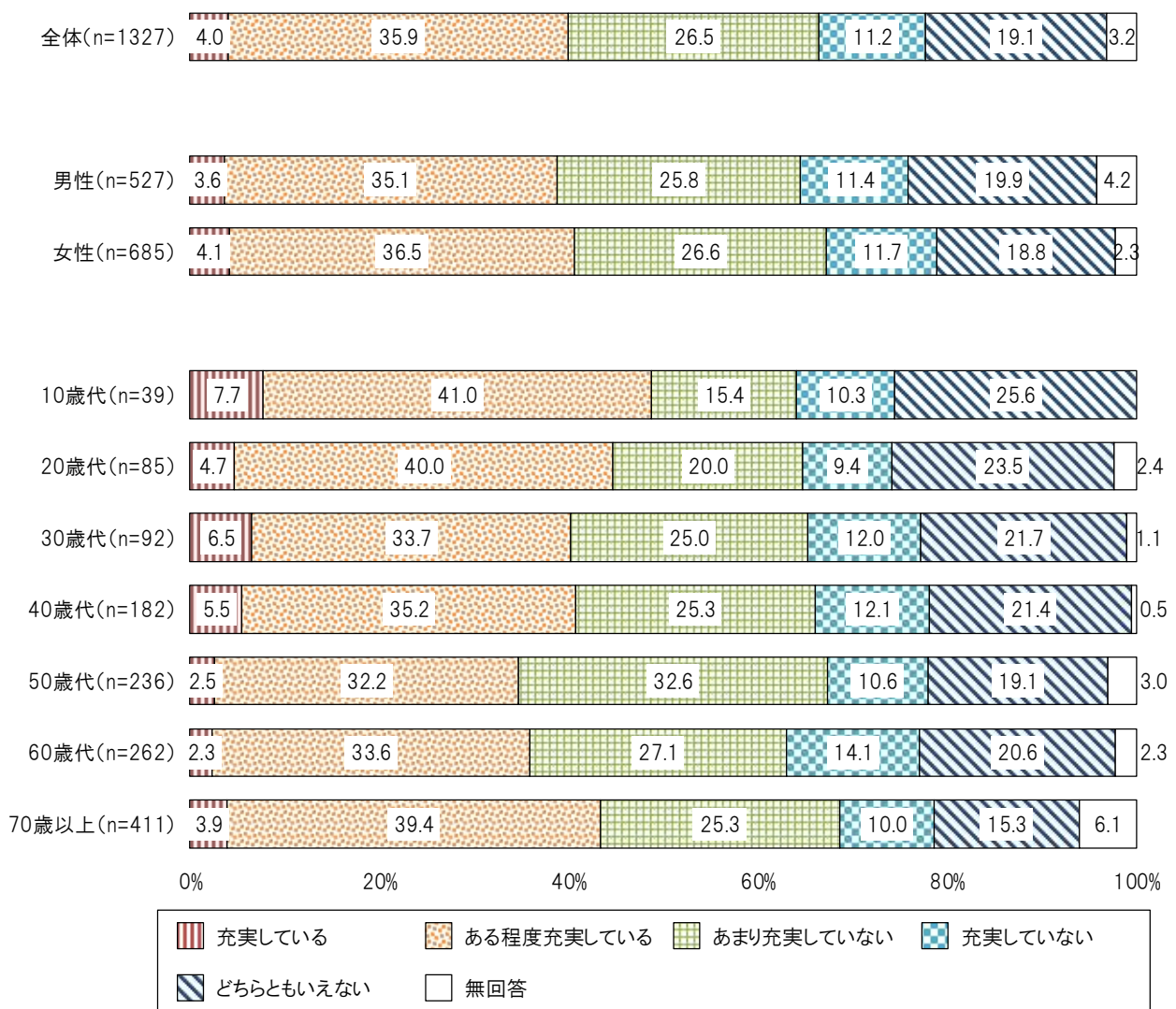
問31 自立した生活を継続し、住み慣れた地域で暮らしていくためには、地域で支えあう取組が必要です。お住まいの地域では、お互いが困りごとへのちょっとした支援（ごみ出しなど）の「助け合い」や、日頃のあいさつや声かけなどから、お互いを気にかけてあう「見守り」といった、地域の支え合いや地域活動が充実している地域だと思いますか。（○は1つだけ）

「ある程度充実している」が35.9%と最も高く、次いで「あまり充実していない」が26.5%、「どちらともいえない」が19.1%となっている。

性別にみると、男女ともに「ある程度充実している」の割合が最も高く、女性の方が男性より1.4ポイント高いものの、大きな差はみられない。

年代別にみると、「ある程度充実している」が10歳代、20歳代で高く4割を超えている、一方10歳代で「あまり充実していない」の割合が15.4%と低くなっている。

問31 地域の支え合いや地域活動が充実している地域か



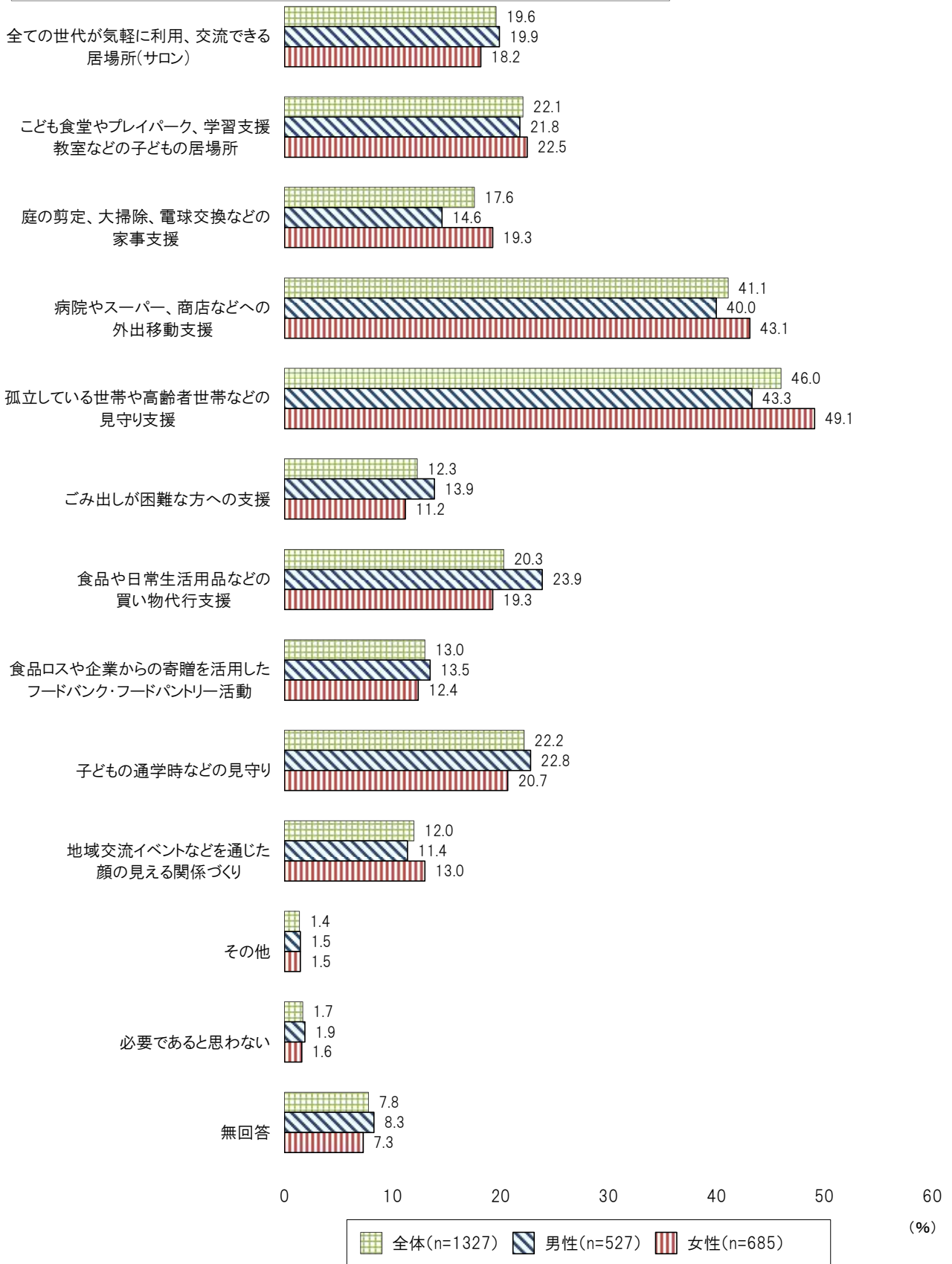
問 32 支援が必要な世帯などを地域で支え合う体制や活動が重要とされています。どのようなことが特に重要だと思いますか。（〇は3つまで）

「孤立している世帯や高齢者世帯などの見守り支援」が46.0%と最も高く、次いで「病院やスーパー、商店などへの外出移動支援」が41.1%、「子どもの通学時などの見守り」が22.2%となっている。

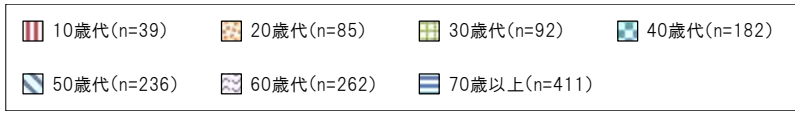
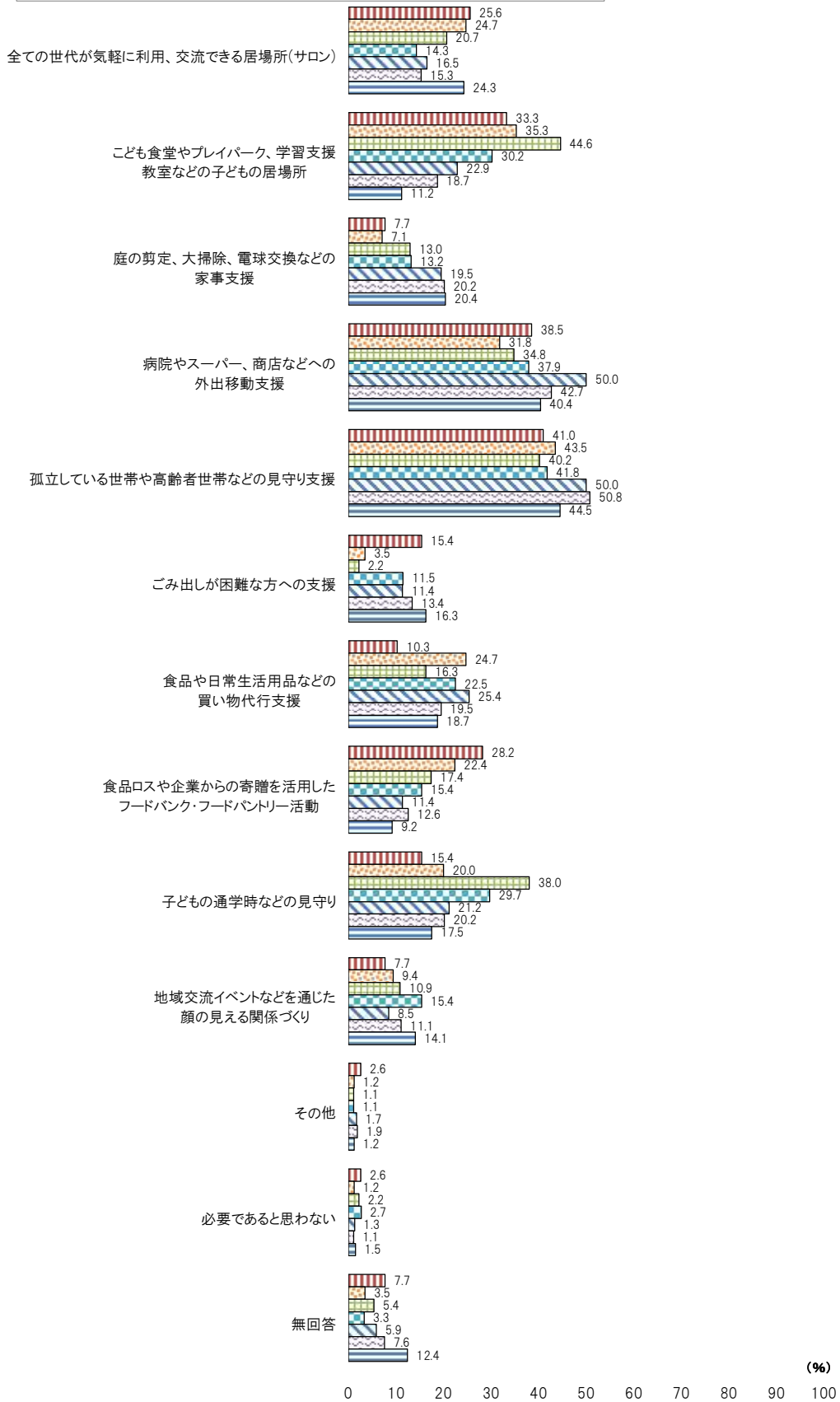
性別にみると、男女ともに「孤立している世帯や高齢者世帯などの見守り支援」の割合が最も高く、次いで「病院やスーパー、商店などへの外出移動支援」が高くなっている。男女の間で差が大きかった項目は、「孤立している世帯や高齢者世帯などの見守り支援」で5.8ポイント女性の方が高く、一方で、「食品や日常生活用品などの買い物代行支援」で4.6ポイント男性の方が高くなっている。

年代別にみると、10歳代、20歳代、30歳代、40歳代で「こども食堂やプレイパーク、学習支援教室などの子どもの居場所」の割合が高く3割を超えている。また、年代で差が大きかった項目は「こども食堂やプレイパーク、学習支援教室などの子どもの居場所」で、70歳以上の11.2%、30歳代の44.6%の差は33.4ポイントであった。また、「ごみ出しが困難な方への支援」が30歳代で2.2%、70歳以上で16.3%、「庭の剪定、大掃除、電球交換などの家事支援」が20歳代で7.1%、70歳以上で20.4%とそれぞれ差が大きくなっている。

問32 支援が必要な世帯などを地域で支え合うために特に重要な体制や活動



問32 支援が必要な世帯などを地域で支え合うために特に重要な体制や活動



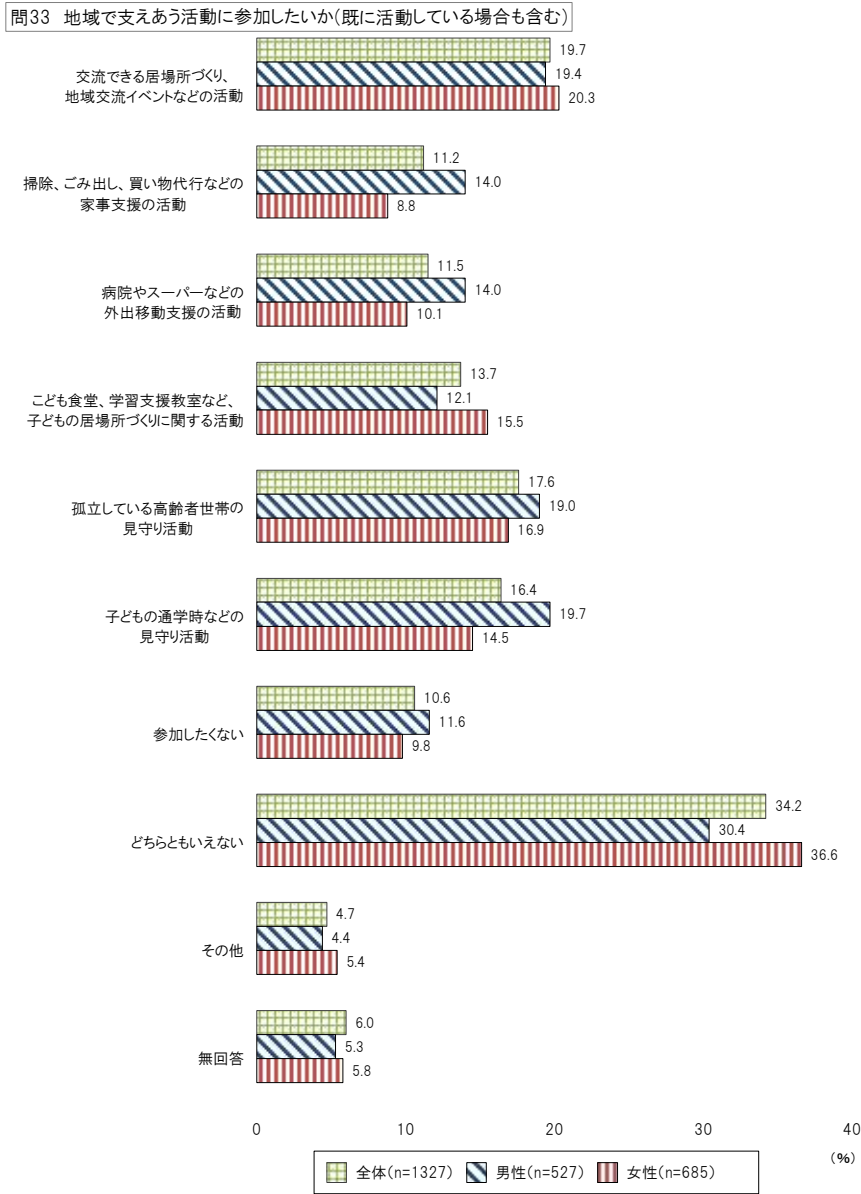


問33 あなたは、地域で支えあう活動に参加したいですか(既に活動している場合も含む)。(〇はいくつでも)

「どちらともいえない」が34.2%と最も高く、次いで「交流できる居場所づくり、地域交流イベントなどの活動」が19.7%、「孤立している高齢者世帯の見守り活動」が17.6%となっている。

性別にみると、「どちらともいえない」が男性で30.4%、女性で36.6%と女性の方が男性より6.2ポイント高くなっている。また、「掃除、ごみ出し、買い物代行などの家事支援の活動」「子どもの通学時などの見守り活動」で男性の方が女性よりそれぞれ5.2ポイント高くなっている。一方で「こども食堂、学習支援教室など、子どもの居場所づくりに関する活動」で女性の方が男性より3.4ポイント高くなっている。

年代別にみると、10歳代をのぞく年代で「どちらともいえない」の割合が最も高くなっており、50歳代では4割を超えている。一方「交流できる居場所づくり、地域交流イベントなどの活動」の割合が10歳代で最も高くなっている。



問33 地域で支えあう活動に参加したいか(既に活動している場合も含む)

